

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2013-3840(P2013-3840A)  
 【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-001  
 【出願番号】特願2011-134258(P2011-134258)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 15/02 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 15/02 3 4 0 B

G 0 6 F 15/02 3 1 5 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月12日(2014.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1、第2の表示部と、

ユーザによるキー操作を受け付け演算結果を表示する表示部を前記第1の表示部と第2の表示部との間で切り替える動作対象切替手段と、

複数の換算レートを記憶する換算レート記憶手段と、

この換算レート記憶手段により記憶された複数の換算レートをユーザ操作に応じて順番に呼び出して前記第2の表示部に表示させる換算レート表示手段と、

ユーザ操作に応じて前記第1の表示部に数値を表示させる数値表示手段と、

この数値表示手段により前記第1の表示部に表示された数値をユーザ操作に応じて指定された換算方向に対応して前記換算レート表示手段により前記第2の表示部に表示された換算レートに基づき換算する数値換算手段と、  
 を備えたことを特徴とする電子式計算機。

【請求項2】

前記第1の表示部と第2の表示部との間でユーザ操作に応じて一方の表示部に表示された計算データを他方の表示部に置き換えて表示させるデータ置き換え手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載の電子式計算機。

【請求項3】

前記第1の表示部に表示された数値に対して換算レートを乗算する指令を与える第1のキーと前記第1の表示部に表示された数値に対して換算レートで除算する指令を与える第2のキーとを備え、

前記数値換算手段は、前記第1のキーあるいは第2のキーの操作に対応した換算方向の換算を行うことを特徴とする請求項1または2に記載された電子式計算機。

【請求項4】

第1、第2の表示部を備えた電子機器のコンピュータを制御するためのプログラムであって、

前記コンピュータを、

ユーザによるキー操作を受け付け演算結果を表示する表示部を前記第1の表示部と第2の表示部との間で切り替える動作対象切替手段、

複数の換算レートをメモリに記憶させる換算レート記憶手段、  
この換算レート記憶手段により記憶された複数の換算レートをユーザ操作に応じて順番に呼び出して前記第 2 の表示部に表示させる換算レート表示手段、  
ユーザ操作に応じて前記第 1 の表示部に数値を表示させる数値表示手段、  
この数値表示手段により前記第 1 の表示部に表示された数値をユーザ操作に応じて指定された換算方向に対応して前記換算レート表示手段により前記第 2 の表示部に表示された換算レートに基づき換算する数値換算手段、  
として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る電子式計算機は、第 1、第 2 の表示部と、ユーザによるキー操作を受け付け演算結果を表示する表示部を前記第 1 の表示部と第 2 の表示部との間で切り替える動作対象切替手段と、複数の換算レートを記憶する換算レート記憶手段と、この換算レート記憶手段により記憶された複数の換算レートをユーザ操作に応じて順番に呼び出して前記第 2 の表示部に表示させる換算レート表示手段と、ユーザ操作に応じて前記第 1 の表示部に数値を表示させる数値表示手段と、この数値表示手段により前記第 1 の表示部に表示された数値をユーザ操作に応じて指定された換算方向に対応して前記換算レート表示手段により前記第 2 の表示部に表示された換算レートに基づき換算する数値換算手段と、を備えたことを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係るプログラムは、第 1、第 2 の表示部を備えた電子機器のコンピュータを制御するためのプログラムであって、前記コンピュータを、ユーザによるキー操作を受け付け演算結果を表示する表示部を前記第 1 の表示部と第 2 の表示部との間で切り替える動作対象切替手段、複数の換算レートをメモリに記憶させる換算レート記憶手段、この換算レート記憶手段により記憶された複数の換算レートをユーザ操作に応じて順番に呼び出して前記第 2 の表示部に表示させる換算レート表示手段、ユーザ操作に応じて前記第 1 の表示部に数値を表示させる数値表示手段、この数値表示手段により前記第 1 の表示部に表示された数値をユーザ操作に応じて指定された換算方向に対応して前記換算レート表示手段により前記第 2 の表示部に表示された換算レートに基づき換算する数値換算手段、として機能させることを特徴としている。